

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【公表番号】特表 2012-532840 (P2012-532840A)

【公表日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-054

【出願番号】特願 2012-518932 (P2012-518932)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/10 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

A 0 1 N 53/08 (2006.01)

A 0 1 N 43/36 (2006.01)

A 0 1 N 25/18 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/10

A 0 1 P 7/04

A 0 1 N 53/00 5 0 8 C

A 0 1 N 43/36 A

A 0 1 N 25/18 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 2 日 (2013.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次のものを含有する組成物

A) 次の成分 A 1)、A 2) からなる混合物 A 0.1 ~ 45 質量% (A 及び B の合計に対して)

A 1) 1 種以上のピレトロイド 99 ~ 1 質量% (A に対して)、

A 2) クロロフェナピル 1 ~ 99 質量% (A に対して)

及び

B) 次の成分の乳化重合により得られるアクリラートバインダー 99.9 ~ 55 質量% (A 及び B の合計に対して)

B 1) 式 (I)

【化 1】



[式中、

R¹ は、H 又は CH₃ を意味し、

R² は、線状又は分枝鎖状の C₁ ~ C₁₂ - アルキル基を意味する]

の (メタ) アクリラート 1 種以上 20 ~ 93 質量% (B に対して) ;

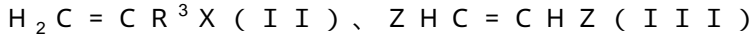
B 2) N - メチロールアクリルアミド、N - メチロールメタクリルアミド、N, N - ビスメチロールマレイン酸ジアミド及び N, N - ビスメチロールフマル酸ジアミドの群からの少なくとも 1 種のモノマー 1 ~ 5 質量% (B に対して) ;

B 3) アクリル酸、メタクリル酸、ビニルスルホン酸、マレイン酸及びフマル酸の群

からの少なくとも１種のモノマー 0 . 2 ~ 5 質量 % (B に対して) ;

B 4) 次の群からの少なくとも１種のモノマー 0 ~ 5 質量 % (B に対して)

B 4 A) 次の式 (I I) 及び / 又は (I I I) のモノマー



[式中、記号は次の意味を有する :

R^3 は H 又は CH_3 ;

X は Z, $-CO-NH-CH_2-NH-CO-CR^3=CH_2$ 又は $COO-CH_2-CO-CH_2-COOR^4$;

Z は $CONH_2$, $CONH-CH_2-OR^5$, $COO-Y-OH$, CO-グリシジル, CHO 又は $CO-Y-OH$;

Y は C_1-C_8 -アルキレン及び、

R^4 、 R^5 は、同じか又は異なり、線状又は分枝鎖状の $C_1 \sim C_{10}$ -アルキル基]

B 4 B) アクリル酸アリルエステル、アクリル酸メタリルエステル、メタクリル酸アリルエステル、メタクリル酸メタリルエステル、マレイン酸ジアリルエステル、マレイン酸ジメタリルエステル、フマル酸アリルエステル、フマル酸メタリルエステル、フタル酸ジアリルエステル、フタル酸ジメタリルエステル、テレフタル酸ジアリルエステル、テレフタル酸ジメタリルエステル、p - ジビニルベンゼン及びエチレングリコールジアリルエーテル ;

B 5) 次の群からの少なくとも１種のモノマー 0 ~ 40 質量 % (B に対して)

B 5 A) アクリルニトリル、メタクリルニトリル、マレイン酸ジニトリル及びフマル酸ジニトリル及び / 又は

B 5 B) B 1 ~ B 4 とは異なる、非極性エチレン性不飽和モノマーでコーティングされた基材。

【請求項 2】

前記組成物の前記成分 A 1 は、シベルメトリン、 - シベルメトリン、デルタメトリン、ペルメトリン、シフルトリン、 - シフルトリン、シハロトリン及び - シハロトリンから選択されている、請求項 1 記載の基材。

【請求項 3】

前記成分 A 1 は、 - シベルメトリンである、請求項 2 記載の基材。

【請求項 4】

前記アクリラートバインダー B の前記成分 B 1 は、n - ブチルアクリラートである、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 5】

前記アクリラートバインダー B の前記成分 B 2 は、N - メチロールアクリルアミド又は N - メチロールメタクリルアミドである、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 6】

前記アクリラートバインダーの前記成分 B 3 は、アクリル酸である、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 7】

テキスタイル材料の形にある請求項 1 から 6 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 8】

ネットの形にある請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 9】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項記載の組成物を含有する、基材の殺虫性コーティングのための水性処方物。

【請求項 10】

遊離イソシアナート基を提供する架橋剤を含有する、請求項 9 記載の水性処方物。

【請求項 11】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項記載の基材を、ヒト及び / 又は家畜が利用する建造物中に取り付ける、有害昆虫からヒト及び / 又は家畜を保護するための方法。

【請求項 1 2】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項記載の基材を、ヒト及び / 又は家畜が利用する建造物中に取り付ける、有害昆虫により伝染されるベクター伝染性疾患からヒト及び / 又は家畜を保護するための方法。

【請求項 1 3】

建造物中に請求項 1 から 8 のいずれか 1 項記載の基材を取り付ける、建造物中の有害昆虫の防除方法。

【請求項 1 4】

建造物中の有害昆虫の防除のための、ヒト及び / 又は家畜を有害昆虫から保護するための、及び / 又は、ヒト及び / 又は家畜を有害昆虫により伝染されるベクター伝染性疾患から保護するための、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項記載の基材。

【請求項 1 5】

前記有害昆虫がピレトロイド耐性を示す、請求項 1 1 から 1 3 のいずれか 1 項記載の方法又は請求項 1 4 記載の基材。